

韓国のリアルを探る！

日本と韓国の高校生の相互交流を通して、高い国際感覚を備えた青少年を育成するという事業趣旨のもと「実際に現地に行かないと分からないことや本音をたくさん吸収する。そして、行って終わりではなくまとめや報告をしっかりとて分かったことは広め、考えは深めていく。」という目標を持って韓国に渡航してきました。

まず、皆さんに聞きたいことがあります。これを読んでくださっている方の中に、韓国に良くない印象を持っている人はいませんか？「なぜ？」と聞かれて明確な理由を述べることができますか？複雑な歴史的問題があるから、と答える方もいるかもしれません。確かに過去を知り、未来につなげることは重要ですが良くない印象を持っているだけでは意味がないのです。また、ニュースで報じられるほんの一部の情報に惑わされたり、心理的に自分のことを好きでいてくれる人は好きと思ってしまい、反日だから悪い印象があるという方もいるのではないのでしょうか。

うーん、当てはまるかもしれないなあと思ったそこのあなた！ぜひとも実際に訪れて、生の声を聞いてほしいです。それが難しければ、固定観念を捨てることから始めましょう。

この手記では私が日本にいただけでは分からなかった、初めて知ったこと等を厳選して2つ書かせていただきます。

1つ目はDMZ(demilitarized zone、非武装地帯)や現地のガイドのキムさんに伺ったお話についてです。DMZ内では第3トンネルの見学(←とにかく長いし、天井が低いため屈みながらでないと歩けない場所もありました。) 北朝鮮を最も近くから見る事ができる韓国最北端の都羅展望台から北朝鮮の農地を見たりしました。驚いたのはこのDMZ、年に2、3回地雷事故が起きるような場所に人が住んでいるということです。70%の地雷はまだ残っているので、今年の6月にも事故が起き、人間だけでなく動物たちにも被害があるそうです。だから、畑を買うときは地雷も一緒に買うことになるので自分で処理しないはいけません。これは日本のすぐ近くで起きている現実です。また、キムさんが「北朝鮮と韓国を統一したほうがいいという人がほとんどだけれど、私は反対。韓国の150～160万人、北朝鮮の2000万人の生活保護者を食べさせるのは結局私たちだから。お金を貯めて30～50年かけて統一すべき。」と言っていたのがとても興味深かったです。立場を変えてみるとこのような考え方もあるのだと思いました。

2つ目は学生の勉強に対する意識の高さです。韓国では受験競争が激しいというのは聞いたことがありましたが、訪問した水原外国語高校の生徒に聞いてみると予想を上回る学習量でした。50分授業を8コマが18:10に終わり、その後19:30～23:20まで自習をするそうです。また、学校に普通のものより背の高い机も用意されています。それは眠

くなったらそこで立って勉強をするためだそうです。同じ高校生がこんなに頑張っているのだから、私も見習わないといけないなと思いました。

このように実際に行って聞いてみないと分からないことはたくさんあります。私も、キムさんのバスの中での話や高校生、大学生の方との交流を通して吸収することができました。

これからは、今書いているように今回学んだことをしっかり広めていきたいしお互いの国を訪問するツアーを計画、(←「両国の未来志向的な友好関係の構想」というテーマでプロジェクトの発表をする際にも提案しました。) 今度は、ボランティアとして日本で韓国の高校生を案内するなどして日韓の関係を良くするための意味のある交流に関わってみたいです。みなさんも韓国を「近くて遠い国」から「近くて近い国」にするために何か行動してみませんか。ここまで読んでくださり、ありがとうございました。